

## やまゆりポーク生産者協議会の食育授業行われる

やまゆりポーク生産者協議会では、各会員が経営活動を行っている地域の市と協力し、給食用豚肉の寄贈、その豚肉のメニューによる給食提供、生産者による自農場の紹介を中心とした食育授業を行っています。

11月25日（金）には、相模原市緑区内の小学校で5年生33名と別の小学校からのウェブ参加4名を対象に、当所、関係機関、生産者が食育授業を行い、児童は命の大切さを訴える生産者の言葉に熱心に耳を傾けていました。

11月30日（水）には、藤沢市内の小学校5年生（52名）を対象として当所と関係機関が食育授業を行いました。藤沢市と対象小学校は食育に熱心で、やまゆりポークの食育授業に加え、バターづくり体験も実施するなど、畜産を教材とした盛りだくさんの授業となり、活発に質問が飛び交うなど、児童の反応も上々でした。

12月8日（木）には、平塚市内の小学校5年生（65名）を対象として当所、関係機関、生産者が食育授業を行いました。こちらの小学校では広い体育館での食育授業となり、授業後は、やまゆりポークの寄贈式も盛大に行われ、校長先生より感謝状、児童からはお礼のことが生産者へ贈られました。また、給食時には校内放送で、「自分たちが丹精込めて生産した豚肉を味わいながら大切に食べてほしい」という生産者からのメッセージを全校生徒へ発信しました。

従来は、生産者と児童たちが同じ食卓を囲んで給食を食べていましたが、今回は新型コロナウイルス感染症の影響で、その取り組みは行われませんでした。代わりに生産者と関係機関には児童とは別室に給食が用意され、自分たちが提供した豚肉を使った給食メニューの味を確かめあうなど、いつもとは違う盛り上がりを見せていました。

畜産技術センターは、食育授業の中で畜産全般や豚の知識と各市の畜産情勢についての授業を担当しています。家畜や地域の畜産に対する理解が深まることを期待しつつ、今後とも食育への支援を行っていきたいと思います。



相模原市内の小学校での授業風景



平塚市内の小学校での授業風景



藤沢市内の小学校での給食（やまゆりポークの豚丼）